

# 健康経営

実践企業に学ぶ

16

1931年の創業以来90年以上にわたり、暮らしの中の「包む」に寄り添い、包装資材の開発・生産に取り組むダイドー。顧客ニーズや社会のトレンドに対応し、素材・製品と取り扱う領域を広げながら成長を続ける。

2022年から25年まで4年連続で健康経営優良法人の認定を受けている同社。健康経営を始めたきっかけは、大切な社員の事故やケガの防止のために「安全に働くためには健康が大事。体調管理と安全管理を一番に考えて欲しい」と高桑社長は話す。

健康経営に取り組む中で、社員へのアンケートやストレスチ



高桑真樹社長

## ダイドー



社員の憩いの場、ダイドー自慢の食堂。温かくバランスの良い食事を提供する

フルエンザ予防接種や家族が利用できる協会けんぽの健康診断の勧奨も

一人では何もできない、社員が一丸となつてこの会社だとい

### 会社概要

- 所在地/生駒市北田原町1826番地1号
- 電話/0743 (79) 9800
- 創業/1931年8月
- 事業内容/軟包装製品の印刷・加工

エックを行うと、部署や個人での課題や悩みが見え、改善策にも役立ち、様々な視点で健康を捉えることの大切さを学べたという。

「切だ」と高桑社長。現在の工場を建てる際も、社員の憩いの場としての食堂を3階の一番見晴らしの良い箇所に設計したという。

健康診断の100%受診はもちろん、結果によっては再検査へのフォローや促進、無料でのイン

社員への投資が大事だと考える高桑社長は「人が城、人が石垣で、人が一番大切だ」と話す。

## 安全に働くための健康第一

社員一人ひとりの健康が社のさらなる発展につながり、ダイドーの技術革新がより一層、地域と顧客への貢献につながることを信じて、「包むというやさしさや思いやりにつなげたい」と高桑社長は意気込む。

(毎月第4木曜日掲載)